

研究論文の本文以外の作り方 フローチャート編

きむあき

フローチャート

- 研究デザインの設計図として、
- フローチャート flowchart (流れ図) がよく使われる
- これは計画の流れ (プログラムの流れ) を表している

- 研究デザインの流れを表すだけなら
- いくつかの図記号を使いこなせるようになればよい

フローチャートの1st step

- 図記号の意味を覚える
- フリーハンドで気軽に描く
- 自分の頭にあるイメージを そのまま図にする

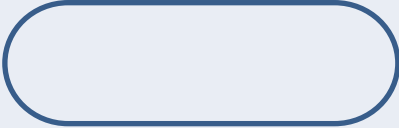

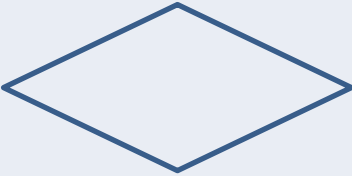
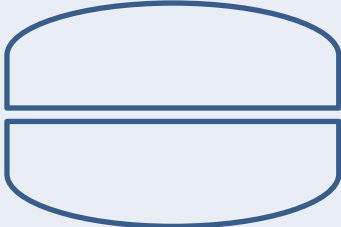
研究デザインの流れの3種類

- 順次
- 分岐（処理を選ぶので選択と呼ぶこともある）
- 繰り返し

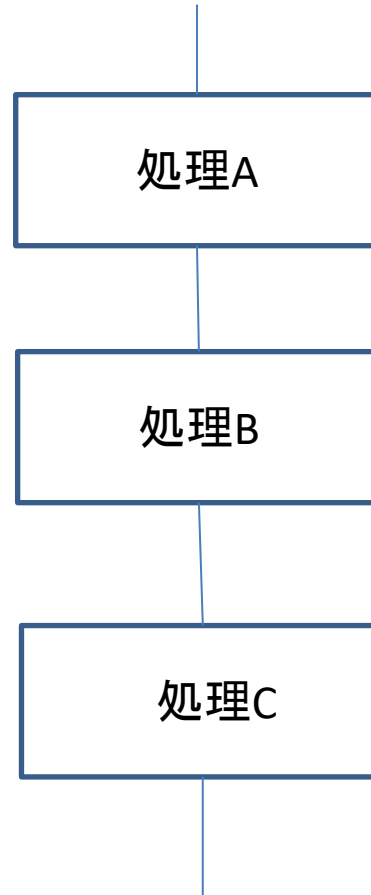
- ほとんどのフローチャートが、これらの3つを組み合わせれば作れる

順次の表現

- デザインは基本的に上から下に向かって流れる
- 順次を表現するのに特殊な記号はいらない

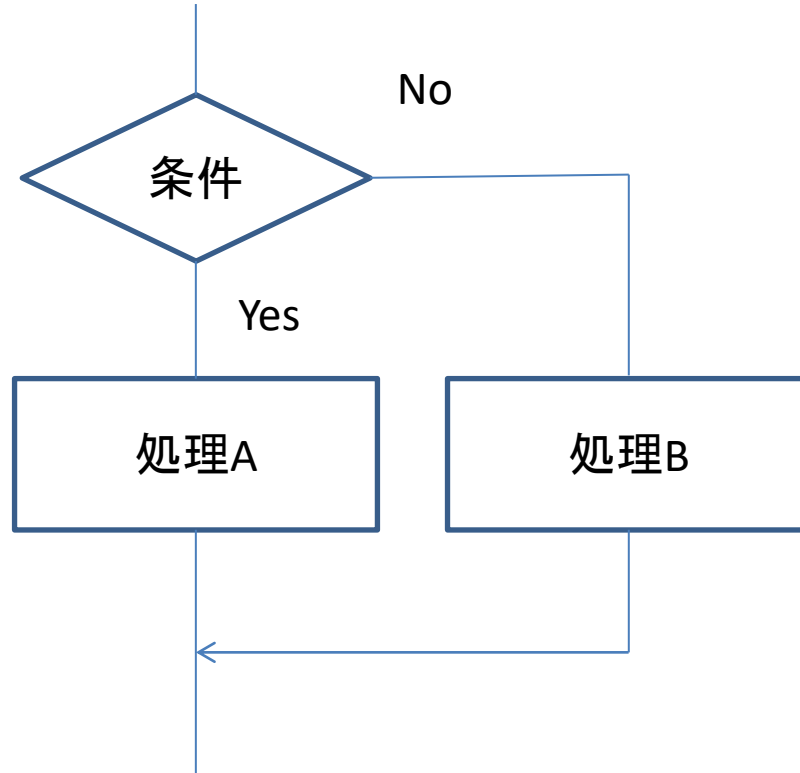
| 図記号 | 名称 | 意味 |
|---|-----|-----------------------|
|  | 端子 | プログラムの”はじまり”と”おわり”を示す |
|  | 処理 | ”入力処理””演算処理””出力処理”を示す |
|  | 判断 | ”分岐”の条件を示す |
|  | ループ | 2つの図記号で”繰り返し”の範囲を囲む |

順次



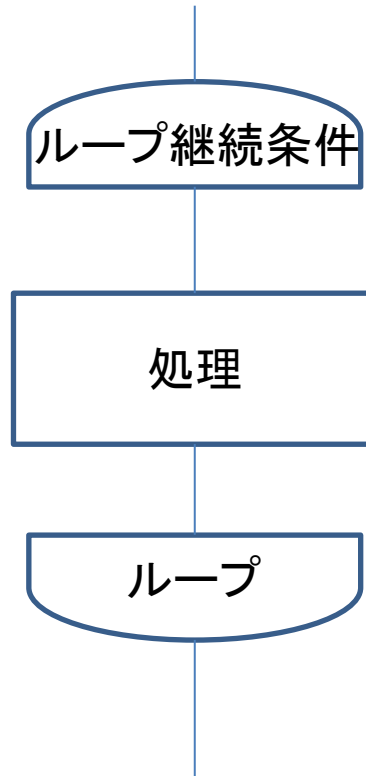
処理A 処理B 処理C の順に流れる

分岐



条件がYesなら処理A、Noなら処理Bに分岐する

繰り返し



継続条件がYesである限り“処理”を繰り返す

研究 デザイン例

